作成日：2016 年 8 月 1 日

安全データシート（SDS）

１．化学品及び会社情報

◇製品の名称：ステンレス鋼
◇会　社　名：株式会社西鋼
◇住　　所：大阪市北区中之島 2 丁目 2 番 7 号中之島セントラルタワー
◇担 当 部 門：営業統括部
◇電 話 番 号：06-7711-6555
◇Ｆａｘ.番 号: 06-7711-1432
◇緊急連絡先：同上

２．危険有害性の要約

◇GHS 分類：

＜健康に対する有害性＞

有害性項目	危険有害性区分	危険有害性情報
眼に対する重篤な損傷性　又は眼刺激性	区分 2B	眼への刺激性（H320）
呼吸器感作性	区分 1	吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ（H334）
皮膚感作性	区分 1	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ（H317）
生殖細胞変異原性	区分 2	遺伝性疾患のおそれの疑い（H341）
発がん性	区分 2	発がんのおそれの疑い（H351）
生殖毒性	区分 1B	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ（H360）
特定標的臓器毒性　　（単回ばく露）	区分 1	呼吸器、腎臓の障害（H370）
	区分 2	（全身毒性）臓器の障害のおそれ（H371）
	区分 3	（気道刺激性）気道への刺激のおそれ（H335）
特定標的臓器毒性　　（反復ばく露）	区分 1	長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、神経系の障害（H372）
	区分 2	長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓、肺の障害のおそれ（H373）

＜環境に対する有害性＞

有害性項目	危険有害性区分	危険有害性情報
水生環境有害性（慢性）	区分 4	長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ（H413）

※危険有害性情報の文言及び英文字”H”と組み合わせた 3 桁数字は、JIS　Z　7253：2012「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）」の危険有害性の情報のコード表による。

◇GHS ラベル要素：

＜絵表示又はシンボル＞

＜注意喚起語＞　危険
＜注意書き＞
（安全対策）
・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
・粉塵／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
・取り扱い後はよく手を洗うこと。
・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。）
・屋外又は喚起のよい場所でのみ使用すること。
・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
・環境への放出を避けること。
・保護手袋を着用すること。
・換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
（応急処置）
・皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
・気分が悪いときは医師に連絡すること。
・皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
・眼の刺激が続く場合、医師の診断／手当を受けること。
・呼吸に関する症状が出た場合、医師に連絡すること。
・　汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

（廃棄）
・内容物／容器を、国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

３．組成、成分情報

◇化学物質／混合物の区分：混合物（鉄を主成分として合金鋼）
◇主な成分：

成分	含有量[wt%]	CAS 番号	化管法*1 政令番号	安衛法*2 政令番号
ケイ素　[Si]	5.0 以下	7440-21-3	－	－
マンガン　[Mn]	10 以下	7439-96-5	1 種 412	550
ニッケル　[Ni]	100 以下	7440-02-0	1 種 308	418
クロム　[Cr]	30 以下	7440-47-3	1 種 87	142
モリブデン　[Mo]	10 以下	7439-98-7	1 種 453	603
銅　[Cu]	35 以下	7440-50-8	－	379
コバルト　[Co]	1.0 以下	7440-48-4	1 種 132	172
アルミニウム　[Al]	6.0 以下	7429-90-5	－	－
タングステン　[W]	3.0 以下	7440-33-7	－	337
スズ　[Sn]	1.0 以下	7440-31-5	－	322
チタン　[Ti]	1.0 以下	7440-32-6	－	－
ニオブ　[Nb]	1.0 以下	7440-03-1	－	－
鉄　[Fe]	残量	7439-89-6	－	－

注 1）成分の含有量は、上表の範囲において、規格の種類で異なる。
注 2）上記の主要成分の他に、炭素［C］、リン［P］、硫黄［S］、窒素［N］等の微量元素を含む。
*1　化学物質排出把握管理促進法
*2　労働安全衛生法

４．応急措置

鋼材の加工等により発した粉塵／ヒュームを吸入した場合や飲み込んだ場合、また、粉塵／ヒュームが皮膚に付着した場合は、下記に示す応急措置の後、必要に応じて医師の診断又は手当てを受けること。

◇吸入した場合　　：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
◇皮膚に付着した場合：速やかに多量の水と石鹸で洗う。
◇眼に入った場合　　：水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
◇飲み込んだ場合　　：水でよく口の中を洗浄する。
◇その他　　：鋼材切断端面及び切削屑等で皮膚を傷つけた場合は傷口の清潔を保つ。アーク等により火傷した場合は、患部を冷やす。

５．火災時の措置

鋼材は不燃性（固体）の状態であり、周辺の火災時にも消火器・水による消化を行っても問題ない。但し、微粉は燃焼、爆発性を有する場合がある。

◇消化剤　　：火災の状況に適した消化剤を使用する。
◇使ってはならない消化剤：情報なし

６．漏出時の措置

鋼材は固体であり、一般的な環境下では漏出することはないが、鋼材の加工等により発生した粉塵／ヒュームは下記に示す措置を実施すること。

◇人体に対する注意事項：適切な保護具を使用して、粉塵／ヒュームの吸入や眼への侵入を防ぐこと。
◇保護具及び緊急時措置：箇条８（ばく露防止及び保護措置）の保護具を参照のこと。
◇環境に対する注意事項：切断・研磨等の加工で発生した粉塵等は、速やかに回収する。
◇封じ込め及び浄化の方法及び機材：鋼材の加工等により発生した粉塵類は、適切な方法で回収した後、漏出を防止すること。

７．取り扱い及び保管上の注意

＜技術的対策＞

・製品を溶接、溶断又は研磨等の加工を行い粉塵／ヒューム等が発生する場合は、適切な保護具を着用すること。
・粉塵／ヒューム等が発生する場合は、必要な局所排気／全体換気を行うこと。

＜安全取扱注意事項＞

・重量物の為、転倒、荷崩れ、落下に注意する。
鋼材の切断端面及び切削屑等は､｢バリ｣｢カエリ｣などにより皮膚を傷つける場合がある。
溶接、溶断等にともなうアークは火傷を起こす場合がある。
結束及び梱包フープ（バンド）の切断時に、フープの跳ね返りやフープ先端に注意を要する。特にコイル製品の場合には、コイルの先端が跳ね上がる可能性があるため安全に充分な留意を要する。

＜安全な保管条件＞

・水漏れ、酸、アルカリもしくはそれらを含んだ物質との接触を避けること。
・高温多湿の環境を避ける。必要であれば、雨水浸透防止、錆防止のためのシート、カバー、梱包等を行うこと。

８．ばく露防止及び保護措置

製品は通常の状態では固体であるため、一般的な環境下では、ばく露及び保護措置に関する有用な情報はない。ただし、溶接・溶断又は研磨・切削等の加工の際は、ヒュームや粉塵類が発生するので、下記に示す設備対策及び保護措置を実施すること。

◇許容濃度：

成分		CAS 番号	日本産業衛生学会 許容濃度 [mg/㎥]	AGCIH*1 TLVs-TWA [mg/㎥]
マンガン	[Mn]	7439-96-5	0.2	0.2
ニッケル	[Ni]	7440-02-0	1	1.5
クロム	[Cr]	7440-47-3	0.5	0.5
モリブデン	[Mo]	7439-98-7	-	10(I)/3(R)*2
銅	[Cu]	7440-50-8	-	1*3/0.2*4
アルミニウム	[Al]	7429-90-5	-	1(R)*2
タングステン	[W]	7440-33-7	-	5
コバルト	[Col]	7440-48-4	0.05	0.02
スズ	[Sn]	7440-31-5、	-	2

注 1）NITE HP/化学物質総合情報提供システム(CHRIP)検索結果
注 2）表中の“-”は、区分外又は分類できないことを意味する。
*1　American Conference of Governmental Industrial Hygienists；米国産業衛生専門家会議
*2　(I);Inhalable fraction　(R):Respirable fraction
*3　Dust and mists,as Cu
*4　Fume

◇設備対策：適切な換気対策を実施し、作業環境を確保すること。
◇保護具：適切な呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護衣、安全靴等を着用すること。

９．物理的及び化学的性質

◇外観　：銀白色の固体
◇臭い　：金属臭
◇融点　：1250℃以上
◇比重（相対密度）　：7～9ｇ/c ㎥
◇溶解性　：水に不溶

１０．安全性及び反応性

◇安定性　：一般の環境下では、安定している。
◇危険有害性のある分解生成物　：溶断、溶接などの加工時に発生するヒューム中に金属化合物が含まれる可能性がある。

１１．有害性情報

有害性項目	[Mn]	[Ni]	[Cr]	[Mo]	[Cu]	[Co]	[Al]	[W]	[Sn]
急性毒性	-	-	-	-	-	-	-	-	-
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 3	-	-	-	-	-	-	-	-
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	区分 2B	-	区分 2B	-	-	-	-	区分 2B	-
呼吸器感作性又は皮膚感作性	-	区分 1	区分 1	-	-	区分 1	-	区分 1	-
生殖細胞変異原性	-	-	区分 2	-	-	-	-	区分 2	-
発がん性	-	区分 2	-	-	-	区分 2	-	-	-
生殖毒性	区分 1B	-	-	-	-	区分 2	-	-	-
特定標的臓器毒性、単回ばく露	区分 1	区分 1	区分 2,3	区分 3	区分 3	区分 3	-	区分 2,3	-
特定標的臓器毒性、反復ばく露	区分 1	区分 1	-	-	区分 1	区分 1	区分 1	-	区分 1
吸引性呼吸器有害性	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注 1）NITE HP/化学物質関連情報/GHS　関連情報検索結果
注 2）表中の“-”は、区分外又は分類できないことを意味する。
注 3）区分の情報は、箇条 2（危険有害性の要約）を参照のこと。

１２． 環境影響情報

有害性項目	[Mn]	[Ni]	[Cr]	[Mo]	[Cu]	[Co]	[Al]	[W]	[Sn]
水生環境有害性(急性)	－	－	－	－	－	－	－	－	－
水生環境有害性(慢性)	区分４	区分４	－	－	区分４	区分４	区分４	－	－

注 1）NITE HP/化学物質関連情報/GHS　関連情報検索結果
注 2）表中の“-”は、区分外又は分類できないことを意味する。
注 3）区分の情報は、箇条 2（危険有害性の要約）を参照のこと。

１３．廃棄上の注意

◇残余廃棄物：

産業廃棄物に関する法律、都道府県または市町村が定める関連条例の規則に従い、環境に配慮した適切な方法で処分すること。

◇汚染容器及び包装：

容器及び包装に汚染物質が付着している場合、残余廃棄物と同様に、産業廃棄物に関する法律、都道府県または市町村が定める関連条例の規則に従い、環境に配慮した適切な方法で処分すること。

１４．輸送上の注意

輸送に関する国際規制対象物質に該当しない。

１５．適用法令

◇労働安全衛生法　第 57 条の 2 第 1 項（通知対象物）
◇化学物質排出把握管理促進法　第一種指定化学物質

１６．その他の情報

◇参考資料等

・GHS　対応ガイドライン　ラベル及び表示・安全データシート作成指針
（2012 年 6 月　一般社団法人　日本化学工業協会）
・GHS　対応一化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度
（2012 年 10 月　経済産業省、厚生労働省）
・独立行政法人　製品評価技術基盤機構（NITE)ホームページ
・混合物分類判定システム（経済産業省）
・職場の安全サイト（厚生労働省）

本データシートは、日本工業規格　Z 7253:2012 「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS)」（以下「JIS」という）に準じて作成されており、用語の定義は、JIS に従っています。

本データシートは、製品の安全な取り扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。取扱事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実体に応じた適切な処置を講ずることが必要です。

従って、本データシートは、製品の安全を保証するものではなく、本データシートに記載されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。

以上